

チームワークを大切に 少年消防クラブ結成式

5月27日(土)、俱知安消防署にて、俱知安町少年消防クラブの結成式が執り行われました。

式には、クラブ員の小学生全25名のうち21名が、そろいの制服に身を包んで出席し、麻生裕之消防署長から任命書を受け取りました。麻生署長は挨拶の中で、このクラブでの活動が他の校外活動ではなかなかできない貴重な体験となることなどに触れ「何よりもチームワークが大事です。活動を通して協調性の大切さを学んでください」と話していました。

式の終わりに、クラブ員を代表して杉澤彪生くん(俱小6年)が「少年消防クラブ員であることに誇りを持ち、決まりを守り、火災予防や防災活動の普及促進に努めることを誓います」と誓いのことばを述べました。



笑顔が溢れました ふれあい移動動物園

今年で2回目となる「ふれあい移動動物園」が6月12日(月)、町中央公園で開催されました。

このイベントは、俱知安ライオンズクラブの主催で、普段は動物園でしか見ることのできない動物たちを間近で見つ、触れ合うことのできる、貴重な体験を俱知安の子どもたちに届けてあげたいと実施されており、会場は一日中町内の保育所や幼稚園児をはじめ多くの子どもたちで賑わっていました。

この日は、うさぎやモルモット、ひよこなどの小さな動物から、大型のリクガメやポニーといった乗って触れることのできるような動物などが集まり、会場を訪れた子どもたちは動物に実際に触ってみたり乗ってみたり、エサやりをしたりと、様々な動物たちとの触れ合いを楽しみながら、生き物の生態についても学んでいました。



検診と予防接種は夏休み中に！

▼エキノコックス症検診

エキノコックスは寄生虫で、肝機能障害を引き起こし、放置すると命にかかります。数年から十数年の潜伏期間があるので、最初の検診は8歳(小3)で、以後5年ごとに受けます。

- ・小学3年生の方
- ・前回検診から5年以上経過した方(小3で受けていたら中2以上)
- ・小学3年生以上で一度も受けたことがない方

案内ハガキが届いた方は持参ください。ハガキがない方は保健福祉会館(北3東4)で受診券の発行を受けてください。

検診実施医療機関、受付時間など

俱知安厚生病院 北4東1 ☎ 22-1141	詳細は 病院(健康推進課)へ
くとさん外科胃腸科 北4西3 ☎ 21-6410	月~土曜日(水・土は午前のみ) 9時~11時30分 14時~16時30分
白樺会内科クリニック 北2西3 ☎ 22-1707	月・火・水曜日 9時~11時 15時~17時
ようてい小児科・ アレルギー科クリニック 南3東4 ☎ 22-6633	火・木・金曜日 9時~11時30分 14時~17時
北海道対がん協会 札幌がん検診センター	詳細は 町福祉医療課保健指導係へ

※町民は受診無料

▼予防接種

1~2歳で接種したものの第2期
就学前年度が対象

▼2種混合(ジフテリア・破傷風混合)
乳幼児期に3種混合(現在は4種混合)として接種したものの第2期
満12~13歳が対象(可能なら小6で)

▼日本脳炎(合計4回)

【第1期】
初回2回・追加1回接種
6カ月以上90カ月未満が対象
※標準接種年齢は3歳から

【第2期】
1回接種
9歳以上13歳未満が対象

北海道での日本脳炎定期予防接種開始が平成28年4月からのため、満9歳以上20歳未満の一度も受けたことがない方も第1期から対象となります。

※合計4回必要なため、19歳の方は接種間隔など要相談

各予防接種日程は、本号折込「暮らしのカレンダー」を参照ください。

町福祉医療課保健指導係
☎ 22-1144

糸山泰造氏(教育アドバイザー・どんぐり倶楽部代表)

による講演会

日時 **7月20日(木) 13時~14時30分**
※開場 12時30分
場所 **絵本館2階**
テーマ **外遊びがなぜ思考力養成になるのか? 理論を体験する**

糸山泰造さんは、遊びを通して子どもたちの健全な成長をサポートすることを目的としたサークルの運営や、かつて塾講師に指導方法を教えていた経験などを活かし、現在は教育アドバイザーとして広く活躍されています。著書は「絶対学力」「新・絶対学力」(文藝春秋)、「絵で解く算数」(朝日新聞社)など。

この講演会では、現代に合った子育てや「考える力」を養うための家庭での教育などについて話します。小さいお子さんがいる方やお子さんの学習方法にお悩みの方、必見です。

■主催/絵本館を育てる会
☎ 同会連絡係 ☎ 080-5591-4609(干場)

子育て支援センターだより

8月の広場のお知らせ

あいあい広場(0歳) 8月1日(火)
きらきら広場(1歳) 8月2日(水)
のびのび広場(2・3歳) 8月3日(木)

どの広場も10時からセンター裏のプールで水遊びをします。(悪天候の場合は制作を行います)

■申込/7月10日(月)9時30分~

第4回子育て講座(ヨガ)

■日時/8月23日(水)10時~11時30分

■場所/保健福祉会館

■持ち物/飲み物(2人分)、

ヨガマット(バスタオル)

※動きやすい服装で参加してください。託児有

■申込/7月31日(月)

9時30分~

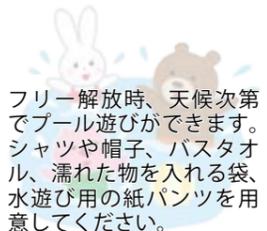
子育て支援センター(南2東1) ☎ 22-0419

開館時間9時30分~12時、13時~17時

(4月~10月)

(正午~13時は玩具などの消毒のため一時閉館)

休館日 土・日曜日、祝日、年末年始



トイレの悩み、ありませんか？

尿失禁は、トイレに行きたいわけではないのに、尿が漏れてしまうことですが、恥ずかしいと悩んでいる人も多いのではないのでしょうか。

トイレが近くなったり、間に合わなくなるのは、年のせいだと諦めてしまいがちですが、快適な生活を送るために、失禁の原因や対処方法を知っておくことが大切です。

▼腹圧性尿失禁

骨盤の底の筋肉が緩むことで、咳やくしゃみ、重たい物を持つときなどお腹に力が入るときに漏れやすくなります。

薬では治療できませんが、骨盤底筋体操で筋力を鍛える方法があります。

▼切迫性尿失禁

突然尿がしたくなって我慢ができずに漏れるタイプで、膀胱自体または膀胱の神経に問題が見られます。

早めにトイレに行くようにしたり、薬を飲むことで失禁が改善する可能性があります。

▼いつ流性尿失禁

尿が上手く出せず、膀胱がいっぱいになることで、いつもちよろちよろと尿が出てしまうタイプです。

膀胱に尿がたまりすぎると感染を起こしやすくなるので、尿を出す治療が必要となります。

▼機能性尿失禁

足腰が悪くトイレに間に合わない、認知症でトイレの場所を忘れるなど、膀胱以外の原因で起こります。

部屋をトイレの近くに作る、トイレと分かるよう目印をつけるなど、原因に応じた工夫が必要です。

排泄は羞恥心と関係が深いので、漏らすことへの不安やストレスで悪循環になったり、介護を受けている人は周りへの気兼ねが原因となることがあるので、精神的な負担への配慮が必要です。

また、認知症の人は、尿意があっても上手く表現できないことがあるので、落ち着かない様子がないか観察したり、時間を見計らってトイレに誘導することで失禁を防ぐことができます。

尿とりパッドやパンツタイプのおむつも色々な種類があり便利なものですが、治療が可能な尿失禁かどうか、医療機関で相談をしてみましょう。

町福祉医療課地域包括支援センター
☎ 23-0500

